

# えいおうキング

《発行》山形市農業振興協議会  
＜問い合わせ先＞  
農政課 就農・経営支援係  
Tel 641-1212 内線 430

## 第22回山形市農畜産物フェスティバル 農産物フリーマーケット参加者募集！

- ① 目的 山形市の安全安心で新鮮な農畜産物の即売、関連イベントなど、消費者とのふれあい・交流を通して、本市農業のアピールと農畜産物のおいしさをPRし、本市農業の消費拡大と地産地消の推進を図る。
- ② 日時 令和5年10月21日（土） 10：00～
- ③ 場所 県民ふれあい広場 芝生広場（霞城公園東大手門の東側）  
（「山形市認定農業者連絡協議会」でブース確保）
- ④ 内容 自分で生産、加工した農畜産物の販売
- ⑤ 申込 令和5年8月31日（木）まで電話でお願いします。
- ⑥ 留意点
  - ・電気をご使用の際は、発電機等で各自対応いただくことになります。
  - ・コンロ、鉄板等を持ち込む際は、その旨ご連絡ください。
  - ・出店料は無料です。テント、長机、椅子はこちらをご用意しております。



### 【申込・問い合わせ】

山形市認定農業者連絡協議会事務局  
（山形市農政課 就農・経営支援係）  
TEL：641-1212（内線 430）

# 山形市6次産業化ビジネスチャレンジ支援事業費補助金

山形市では、農業の振興と活性化を図るため、農畜産物の生産だけではなく、加工・販売を含めた、農業を起点とした6次産業化の取り組みを支援します。

## 1. 補助の対象事業

### ○ビジネスチャレンジ支援事業

- ・自らが生産する農畜産物を加工した新商品の開発や試作品の販売等に係る事業
- ・体験農場、観光農園、農家レストラン等新たな販売方式の導入に係る事業
- ・その他市長が必要と認める事業

### ○販路拡大支援事業

農産物及び加工商品の販路拡大等に向けた、商談会、見本市等への出展に係る事業

### ○グリーン・ツーリズム推進事業

体験農場、観光農園、農家レストラン、産地直売所等が誘客拡大に取り組む場合に必要となる施設・設備等の整備に係る事業

## 2. 事業対象者 市内に住所を有し、農畜産物を販売目的で生産・加工する農業者等とする。

## 3. 交付の補助率と補助限度額

### (1) ビジネスチャレンジ支援事業

①農業者等自ら取り組む場合 2/3 上限25万円

②商工業者等と連携する農業者等が取り組む場合 1/2 上限50万円

※ただし、重点的に活用を図るべき農畜産物を活用した場合は、補助対象経費の3分の2に相当する額とし、50万円を上限とする。

(2) 販路拡大支援事業 1/2 上限25万円

(3) グリーン・ツーリズム推進事業 1/3 上限50万円

※上記の事業について、総事業費10万円以上のものを対象とする。

## 4. 申込方法

下記の提出書類を山形市役所農政課まで提出してください。

※申請書等は市農政課で受領するほか、市ホームページからもダウンロードできます。

山形市ホームページ：<http://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/>

## 5. 提出書類

申請書、事業計画書、補助事業に係わる経費の見積書、その他付随する資料(カタログ等)

## 6. 募集期間

令和5年8月1日(火) ～ 令和5年8月31日(木)

### 【公募終了後のスケジュール】

外部委員を含む補助金交付対象者決定審査会を開催し、6次産業化の取り組みの実現性や創意工夫性などをポイントとして審査(書類審査、事業主体によるプレゼンテーションなど)を行います。意欲的な6次産業化の取り組みに対し、補助金交付対象事業として決定します。

**※提出の前に、申請内容等について事前に担当にご相談下さい。**

### 【お問い合わせ】

担当 農林部農政課 6次産業推進係

電話 023-641-1212 (内線435)

# スマート農業実演動画について

「スマート農業」とは、ロボット、AI、IoT など先端技術を活用する農業のことです。農作業の負担低減、省力化等を図る手段として、近年、スマート農業技術の進展が加速しております。山形市でも南沼原地区をモデル地区として「スマート農業実装事業」(令和4年度～6年度、委託先:山形農業協同組合)を行っております。

この度その実演会が開催され、当日の様子を山形市公式 Youtube チャンネルに公開しておりますので、ぜひご覧ください。

## 【内 容】

実演者:株ひらぶき農園 代表取締役 平吹 拓也 氏

### ①自動操舵田植機(令和5年5月、山形市中沼にて実演)

- ・ほ場の最外周を手動で走行してほ場マップを作成し、その後、田植機が走行経路を自動で計算
- ・旋回も含めて自動で田植えを実施
- ・操作が不慣れでもまっすぐな田植えが可能

### ②自動操舵トラクター(令和5年6月、山形市飯沢にて実演)

- ・自動でほ場をまっすぐ進み作業を実施(実演トラクターは旋回時手動)
- ・神経を使わずに楽に作業が可能

JA やまがた西部営農センターに基地局を設置したことにより、山形市内では既に自動操舵での農作業が可能となっております。

## 【動画視聴方法】

下記の QR コードを読み取ることでご覧いただけます。



### 【お問合せ先】

山形市農政課営農改善係

TEL:023-641-1212 内線 433、434

FAX:023-641-1865

E-mail:nousei@city.yamagata-yamagata.lg.jp

【裏面もあり】

## 農業用ビニールハウスの強風被害対策について

近年、台風等の強風による農業用ビニールハウスへの破損被害が見受けられます。

被害予防への一環として、農業用ビニールハウスの点検を行いましょう。

### 【チェック項目】

被覆資材	被覆資材に破れや穴が空いていないか確認する。 ※破れや穴があったら拡大しないようテープ等で補修する。
ビニペット	ビニペットの緩み、外れ、腐食を点検し、被覆資材をしっかりと固定する。
ハウスバンド	アンカーやらせん杭等の点検を行うとともに、ハウスバンドの締め直し等を行う。

### 【対策】

①	ハウスバンド間隔を狭くして被覆資材のバタツキを防止するとともに、マイカー線やマイカードリ等を点検し、ハウスサイドからの風の流入を防止する。
②	強風で出入り口引き戸が移動したり外れたりしないよう固定し、出入り口からの風の流入を防止する。
③	ハウス周辺のもものが飛ばないように、できるだけ片づけておく。 ※強風の中での作業は危険を伴うので、日頃より気象情報に注意を払い、事前に安全性に配慮し、作業を行うようにしましょう。

## セーフティネットに加入し、災害に備えましょう

十分な被害対策をおこなっていても、近年は予期せぬ災害が多発しています。

農業経営を維持・発展するためにも、農業者自らがリスクに対し必要な備えをすることが重要です。

園芸施設共済は、充実した補償内容で大切なハウスの万が一の被害にしっかりと備えられます。また、ハウス内の作物の被害には、施設内農作物の補償の追加や収入保険へ加入し災害に備えましょう。

詳細については、山形県農業共済組合本所 園芸部(TEL023-656-8978)にお問い合わせください。